



トヨタ ヴァンガード

専用シートカバー取付説明書

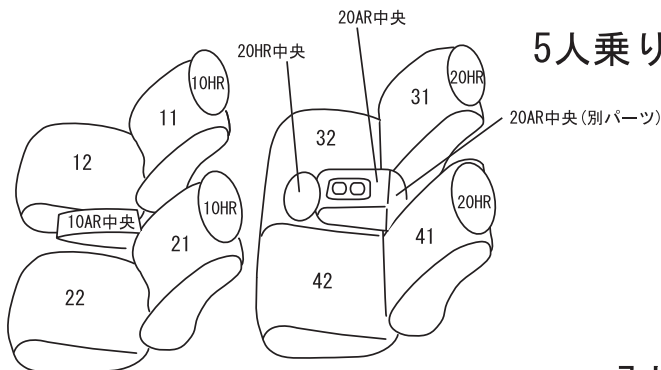
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ず読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

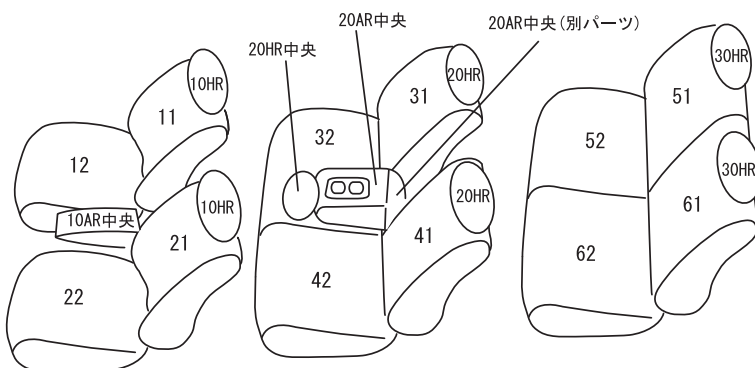
0133/0134/0203/0204

本製品シート形状とパーツの名称

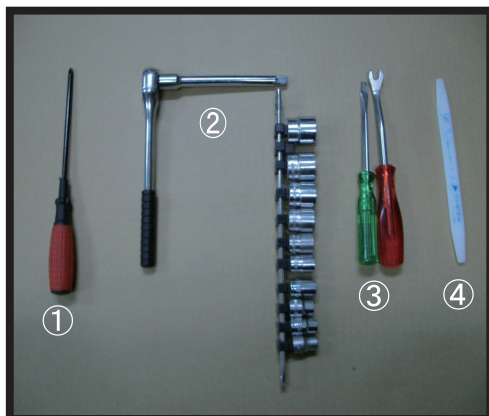
5人乗り (0133・0134)



7人乗り (0203・0204)



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④へラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。
*この車種では、③の工具は使用しません。



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL 072-330-8000 / FAX 072-330-8816

この度は当社商品を御購入いただき誠に有り難うございます。

取付の際は本書をよくお読みの上、十分な注意を払って慎重に取り付けましょう。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



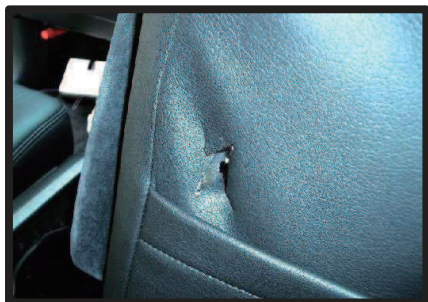
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①最初に、背もたれ裏側から座面下に回り込んでいる生地をシート本体から外します。座面裏にフックで固定してあるので、フックを金具から抜いて外します。



④入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



②カバー側面を裏返してシートのラインに合わせます。ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



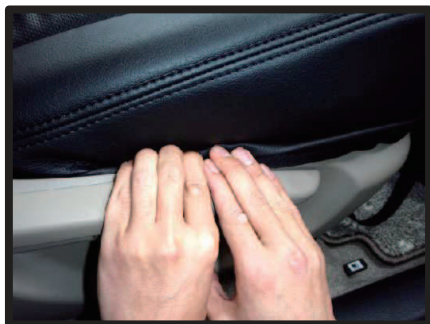
⑤座面カバーのヒモの付いた部分を背もたれと座面の間に入れ込み、背面に引き出します。



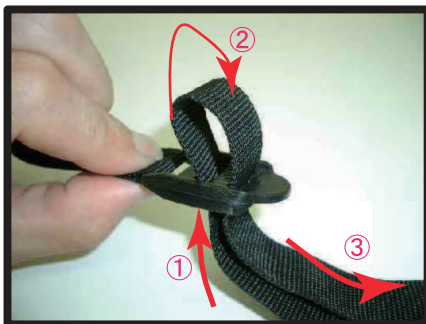
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑥内側はプラスチックカバーの下を回して背面から引き出します。



⑦シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。



⑩カバー前後にあるベルトは図の①から③の順に通し、③で通したベルトを引っ張る事で締まります。カバーの前後を締め込み固定します。



⑧⑤⑥で引き出したヒモを座面後ろで固定します。
片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通し引き絞ります。
絞り込んでから結びます。



⑪カバーのラインを整えて1列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨カバー前部にあるベルト（2本）を座面下のスライドレバーの上を通して背面から引き出します。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①最初に、ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



- ④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



- ②背もたれ背面下の生地をカバーの中に入れ込みます。



- ⑤ヘッドレストの台座部分を取り出した状態です。取り出しにくい場合はボタンの付いている側から取り出して下さい。



- ③折り返していた半分の左右均等に下まで引き下げます。



- ⑥矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



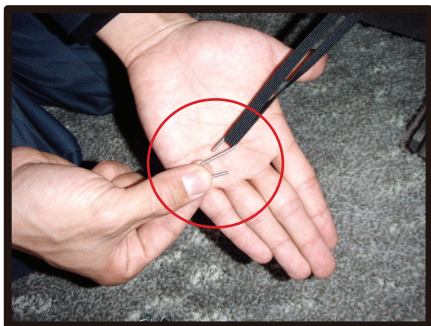
- ⑦ 背もたれ前面の生地を背もたれと座面の間に入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



- ⑩ カバー背面下に付いているゴムを座面裏側の金属バーに固定します。



- ⑧ 入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。
この時、背もたれと座面の間にあるコードをかわします。



- ⑪ 固定には付属のS字フックを使用します。
図のようにゴムの端にS字フックの片側を引っかけて使用します。



- ⑫ 引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



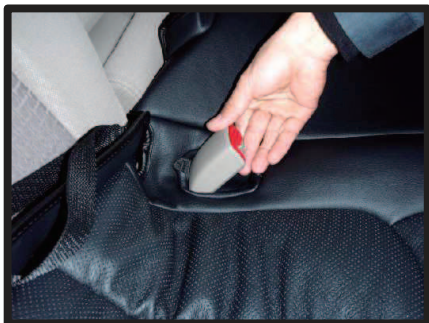
- ⑫ サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて1列目背もたれの完成です。
助手席側も運転席と同様に取り付けます。



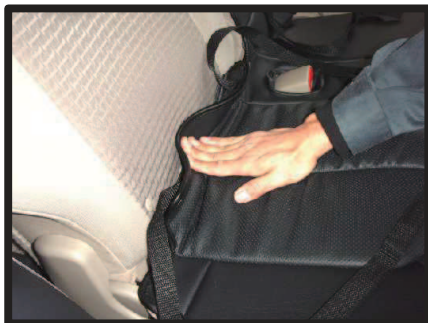
注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。

2 列目座面



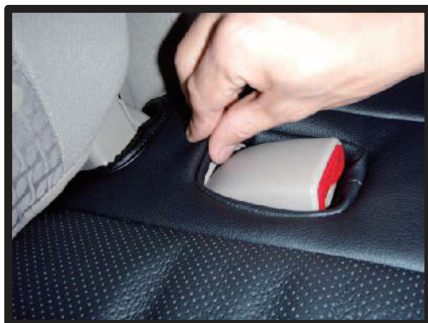
①最初に、カバーをシートに合わせ、シートベルトの受けを取り出します。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



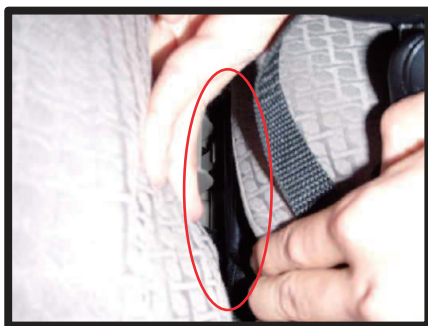
②カバー側面を裏返してシートのラインに合わせます。



⑤シートベルトの受け部分の生地は中に入れ込みます。



③ラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



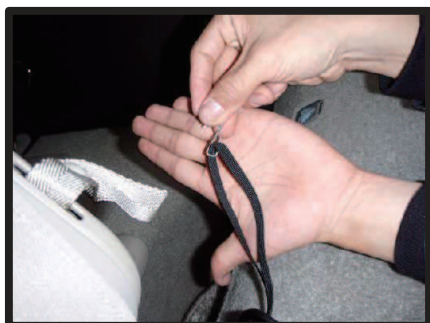
⑥座面と背もたれの間の奥に金属バーがあります。カバー後に付いているベルトを金属バーより前（座面側）を通し、座面下から前に取り出します。



⑦前後のベルトを座面の前側で締め込み固定します。



⑩カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
助手席側も一部形は違いますが、同様に取り付けます。



⑧座面カバー後ろ（アームレストの下近く）に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けて、座面裏の金属バーに固定します。

※助手席側にはありません

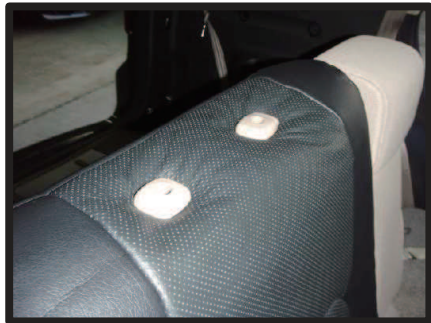


⑨カバー側面のヒモを座面下で固定します。片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通し引き絞ります。絞り込んでから結びます。

2列目背もたれ



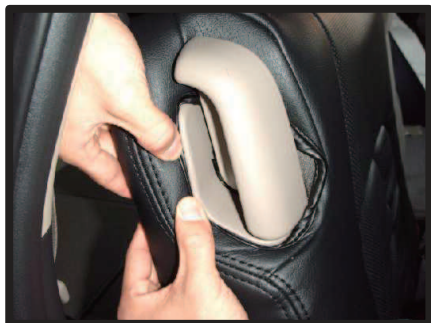
①最初に、カバー後ろのファスナーを開けておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。



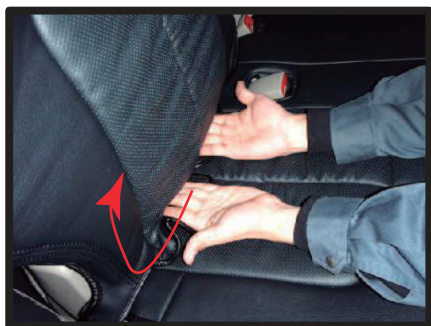
②カバーはシート肩口に付いているレバー部分からかぶせます。レバーをカバーの穴から取り出し、肩口までしっかりかぶせます。



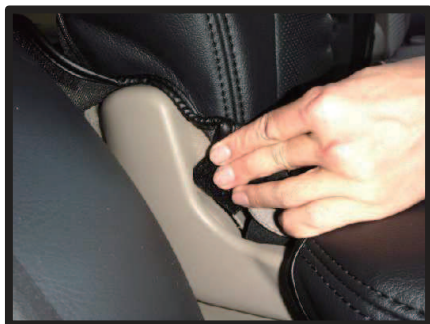
⑤肩口のレバー部分の生地を台座下に入れ込みます。



③反対側の肩口もしっかりかぶせてから、1箇所にかが集中しないようカバーを左右均等に下まで引き下げていきます。



⑥カバー下のマジックテープ部分の生地を背もたれと座面の間から入れ込み、シート背面に貼り付けます。



⑦側面下のプラスチック部分をかわすように切り込みが入れてあります。マジックテープを隙間に入れ込み背面に取り出します。



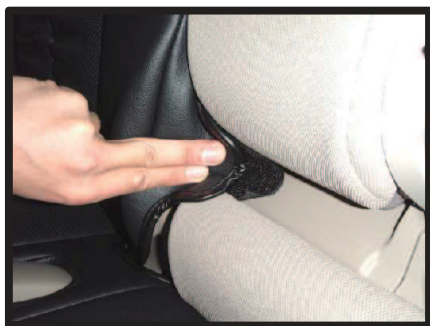
⑩背もたれ背面のファスナーを閉じます。矢印の方向に生地を寄せながらファスナー部分に負荷がかからないよう慎重に閉じて下さい。



⑧背面に取り出したマジックテープをカバー側のマジックテープと留めます。



⑪背もたれ背面下側のマジックテープをシート本体に留めます。カバーの切り込みをシート本体の切り込みに合わせます。



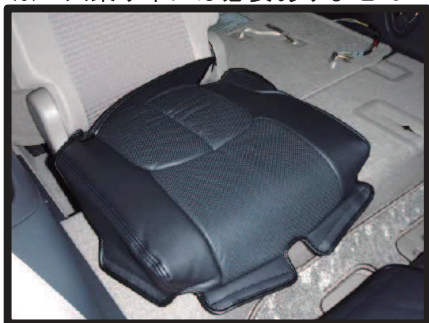
⑨アームレスト側（内側）も同様にマジックテープで留めます。



⑫カバーのラインを整えて2列目背もたれの完成です。
助手席側も一部形は違いますが、同様に取り付けます。

3 列目座面

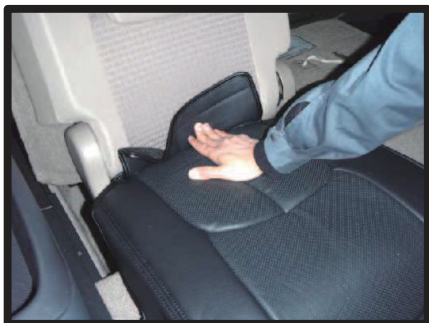
※5人乗り車には必要ありません



①ラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



④引き出した生地をシート本体に、マジックテープで留めます。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑤側面後ろ側のマジックテープもシート本体に留めます。



③入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑥カバーの前面と側面前側のマジックテープはシート本体裏側で留めます。座面の角度を調整して留めやすい位置で行って下さい。

3列目背もたれ

※5人乗り車には必要ありません



⑦マジックテープを留めた状態です。



①最初に、ヘッドレストを外します。
ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせてカバーをかぶせます。



⑧カバーのラインを整えて3列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



②ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。入れ込みにくい場合はヘラ等を使用して下さい。



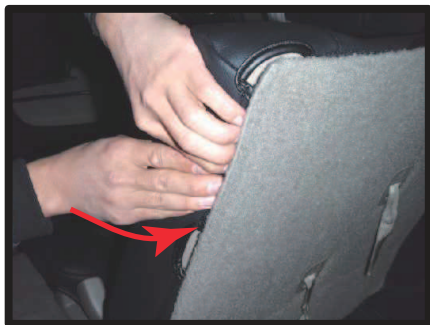
③背もたれ上側の生地をシート本体のクッションと背面パネルの間に入れ込みます。

3列目背もたれ続き

※5人乗り車には必要ありません



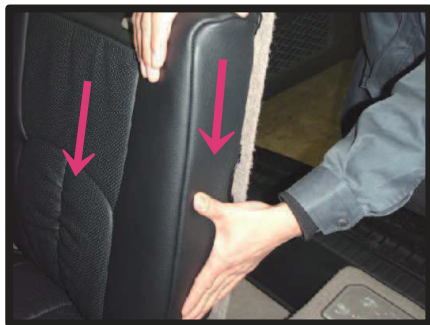
④生地を入れ込む時に生地の左右にあるヒモを下に引き、生地とヒモを奥に入れ込みます。強く引き過ぎるとヒモがちぎれる場合がありますのでご注意ください。



②側面の生地も同様に奥まで入れ込みます。この時、下にあるヒモは背面パネル下側に引っかけておきます。



③カバー下側の生地を背もたれと座面の間から入れ込み、背面に取り出します。取り出した生地を背もたれ背面にマジックテープで留めます。



④カバーのラインを上から整え、側面のヒモ部分を奥に入れ込みます。下まで入れ込み、背面パネル下の裏側にヒモで固定します。



⑤カバーのラインを整えて3列目背もたれの完成です。助手席側も運転席と同様に取付けます。

※床下格納について

格納を使用する際、ロックが掛かる位置までシートを押し込んで下さい。

カバーの厚みにより、ロックが掛かっている場合でも、完全に収まらない場合があります。

1 列目アームレスト



①コンソールボックスの1段目を開いて、アームレストカバーをかぶせます。図のようにカバーとゴムでコンソールボックスを包み込みます。



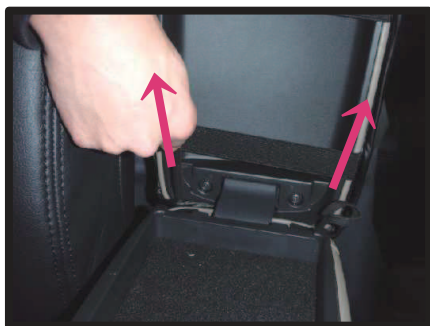
④引き出したゴム2本を結んで留めます。



②カバー後ろ側の生地をコンソールボックス後ろ側の付け根部分に入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業し易くなります。



⑤固定した状態です。



③コンソールボックスのフタを開きます。カバーの後ろ側に付いているゴム2本を前に引き出します。



⑥カバーのラインを整えて1列目アームレストの完成です。
コンソールボックスのフタを閉じる際、前側のロックが固定されているかを確認して下さい。

2 列目アームレスト

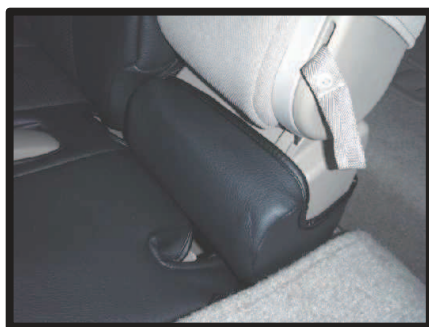
下パーツ



- ①アームレスト下にカバーをかぶせま
す。
図を参考にカバーの前後を確認して
下さい。



- ②靴下をはくように、下からアームレ
スト下にカバーをかぶせま
す。

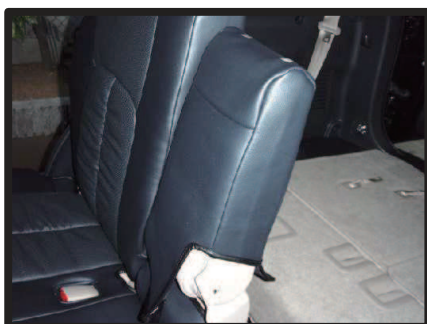


- ③カバーのラインを整えます。

上パーツ



- ④アームレスト上にカバーをかぶせま
す。
カバーを半分ほど裏返して本体にか
ぶせま
す。



- ⑤アームレストの先にとるみが出ない
ように、しっかりと入れ込んで下さ
い。折り返していた半分の左右均等
に下まで引き下げます。



- ⑥ヘッドレストの台座部分を取り出し
ます。



⑦アームレスト下側の生地をアームレストと付け根部分に入れ込みます。



⑩ドリンクホルダーのふちに生地を入れ込みます。



⑧入れ込んだ生地を背もたれとアームレストの間から引き出します。



⑪アームレスト下側のプラスチック部分内側に生地を入れ込みます。



⑨引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整えて2列目アームレストの完成です。

ヘッドレスト

※写真は別車種のものを使っています



- ①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてからかぶせます。



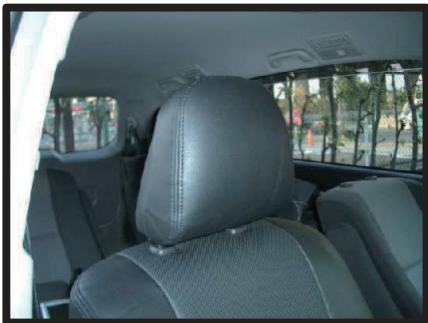
- ②ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



- ③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。



- ④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



- ⑤ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。



- ⑥2列目ヘッドレストカバーは、前側から引っ掛けるようにしてかぶせます。

完成写真



- ⑦ 1列目と同様にプラスチックフックでカバーを固定し、2列目ヘッドレストの完成です。



1列目



- ⑧ 3列目ヘッドレストは、2列目と同様にして取り付けます。
※5人乗り車には必要ありません



2列目



3列目(7人乗り車)

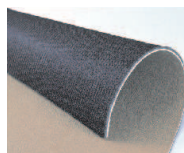


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

